

発達障害の診断または傾向のある学生への支援

-発達障害学生支援プロジェクトの成果と展望-

筑波大学 第一エリア1D棟2階 1D201教室

2018年9月11日（火）15時～17時

参加無料

定員

150名

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターでは、文部科学省の支援を受け、4年間の研究・実践事業である

【発達障害学生支援（RADD）プロジェクト】を進めています。

このFD／SD研修会では、RADDプロジェクトの4年間の実績を踏まえた

発達障害の診断または傾向のある学生への支援・対応についてお話しします。

※筑波大学教職員・学生、他大学の教職員も参加できます

内容

15:00～15:05 開会挨拶 DACセンター長 五十嵐浩也

15:05～15:15 RADDプロジェクトの趣旨・背景・目的について
DACセンター副センター長 兼 RADDプロジェクト責任者 竹田 一則

15:15～16:30 RADDプロジェクトの事業内容・成果・展望について
DACセンター 准教授 佐々木銀河

<意思表明のプロセス支援と適切なアセスメント>

- 包括的な発達障害関連支援ニーズ調査による高支援ニーズ学生の早期発見・支援
- 発達障害に関連する支援ニーズと学業成績の関係
- 多様な学生のパフォーマンスを最大化する個別の心理教育的アセスメントの実施

<公正・公平な評価>

- 障害者差別解消法の考え方に対応した3つの方針とシラバスの明確化
- 日本と海外の大学における「教育の本質」に関する規程の国際比較

<個に応じた多層的な修学支援>

- 発達障害の学生を含めた全ての学生に役立つラーニングサポートツールの開発
- 高い支援ニーズを有する発達障害学生への専門的・個別的支援プログラムの開発

16:30～17:00 質疑応答

■主催：筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリア（DAC）センター

■参加申込方法（要事前登録）：下記リンクまたは右側QRコードより申込ください

https://jp.surveymonkey.com/r/radd_project_fdsd

